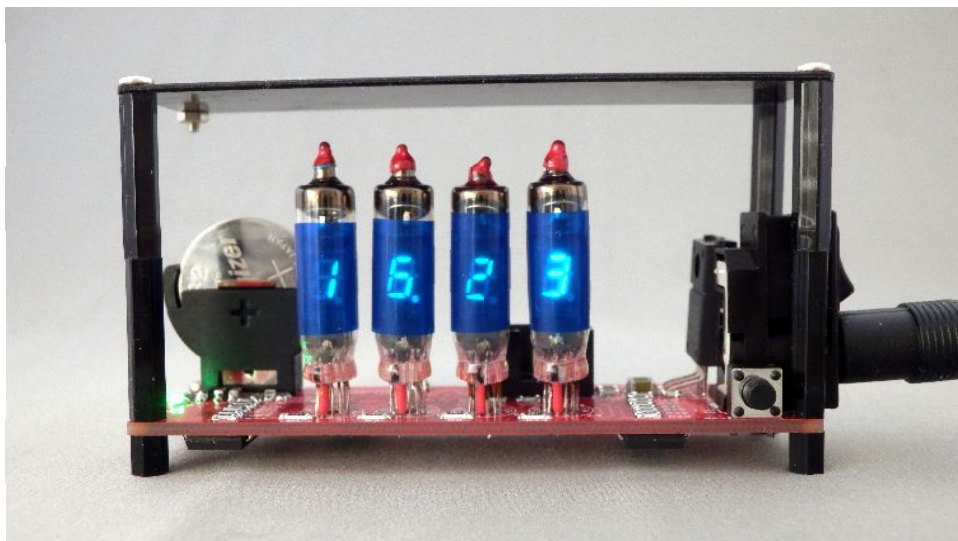


LD8035E CLOCK 説明書

2016年3月20日 T a i s h i V1.00 作成

2016年3月20日 T a i s h i V1.01 変更



この機器はVFD表示管を使った 時計です。

ACアダプターを使用しますが、リチウム電池を持っていますので 数ヶ月は電源を入れなくても時刻の再設定の必要はありません。

電源を入れると最初は時分の表示になります。(表示モードの時分表示)

なお、動作モードは表示モードと設定モードの2つが有り、

前面の押しボタンスイッチにより切り替えます。

※電源ON時、前面の押しボタンスイッチが押されていると 特別な表示チェックモードになります。

1. 表示モード

押しボタンスイッチも押さずに 電源スイッチをONした時に
時分表示 16時23分



月日表示 03月20日



年表示 2016年



最初は 時分の表示で

押しボタンスイッチを短く（0.5秒以下）押すごとに

月日、年の順番で表示が変わります。 年の次は 時分秒に戻ります。

※時分の表示以外の時、20秒以上スイッチ操作を行わなかった時は

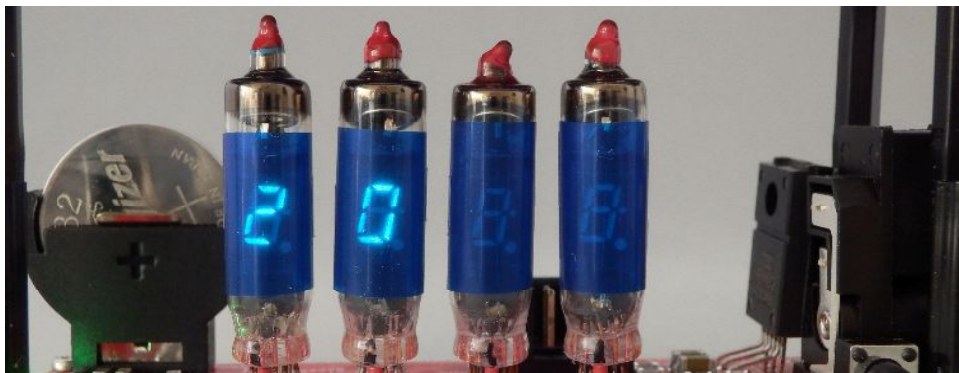
自動的に表示モードの時分表示に戻ります。

2. 設定モード

時分の表示中に 押しボタンスイッチを長く（2秒以上）押してから離すと

設定モードになります。

年設定



年の下2桁を設定します。（点滅している2桁の所、上の写真では消えている所）

押しボタンスイッチを押し続けると 連続して+1され、

99の次は00になります。（押している時は点滅しません）

押しボタンスイッチを短く押すと 設定した年の値を時計にセットし

次の月設定に移ります。

月設定



月の2桁を設定します。(点滅している2桁の所、上の写真では消えている所)

押しボタンスイッチを押し続けると 連続して+1され、

1 2の次は0 1になります。(押している時は点滅しません)

押しボタンスイッチを短く押すと 設定した月の値を時計にセットし

次の日設定に移ります。

日設定



日の2桁を設定します。(点滅している2桁の所、上の写真では消えている所)

押しボタンスイッチを押し続けると 連続して+1され、

3 1 (3 0, 2 9, 2 8) の次は0 1になります。(押している時は点滅しません)

押しボタンスイッチを短く押すと 設定した日の値を時計にセットし

次の時設定に移ります。

時設定



時の2桁を設定します。(点滅している2桁の所、上の写真では消えている所)

押しボタンスイッチを押し続けると 連続して+1され、

23の次は01になります。(押し続けている時は点滅しません)

押しボタンスイッチを短く押すと 設定した時の値を時計にセットし

次の分設定に移ります。

分設定



分の2桁を設定します。(点滅している2桁の所、上の写真では消えている所)

押しボタンスイッチを押し続けると 連続して+1され、

59の次は00になります。(押し続けている時は点滅しません)

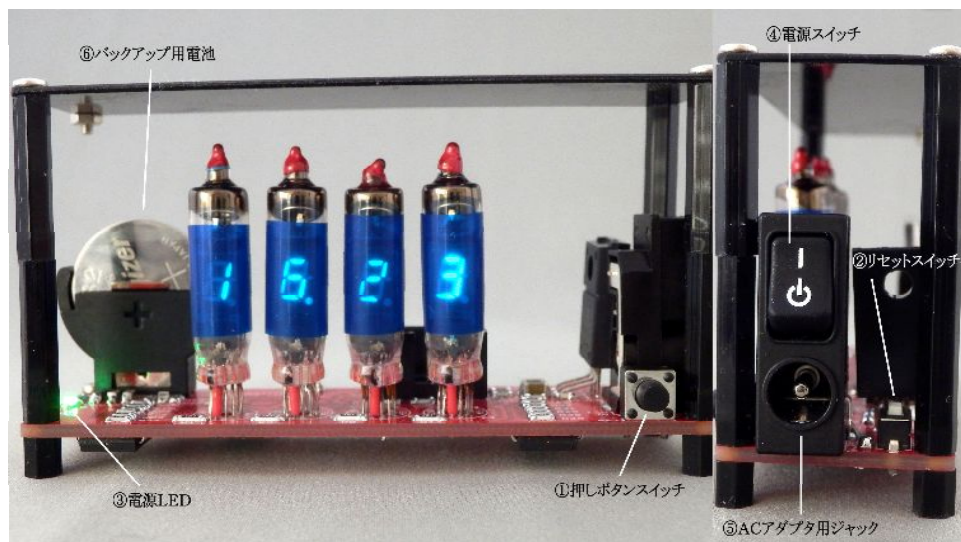
押しボタンスイッチを短く押すと 設定した分の値(秒は0になります)を

時計にセットし、表示モードの時分表示になります。

※以上の設定モードで20秒以上スイッチ操作を行わなかった時は

自動的に表示モードの時分表示に戻ります。

3. スイッチ等の説明



- ①押しボタンスイッチ： 表示、設定の時につかいます。
- ②リセットスイッチ： 押すとソフト的には電源を入れなおした時と同じになります。
- ③電源LED： 電源ONの時に点灯します。
- ④電源スイッチ： 電源のON／OFFに使います。
- ⑤ACアダプタ用ジャック： ACアダプタの出力プラグを差し込みます。
- ⑥バックアップ用電池： 時計IC用のバックアップ電池でCR2032を使います

4. 特別な表示チェックモード

電源ON時、前面の押しボタンスイッチが押されていると このモードになります。

最初にスタティック表示で 0 から 9 を桁移動しながら

小数点無しで一周、小数点有りで一周の計二週表示します。

その次にダイナミック表示で 全桁に 0 ~ F の 16 進数を桁移動しながら表示し、

同時に小数点も桁移動しながら表示します。このダイナミック表示を永久に続けます。

スタティック表示



ダイナミック表示



5. 注意事項

5. 1. 操作時の注意

基板を触る時は不必要な所には触らないようにしてください。

高圧が発生している訳ではありませんが、I Cの端子などに触ると動作がおかしくなる事も有りますので注意してください。

5. 2. 使用上の注意

①付属のA Cアダプタ以外を使わないでください。

電圧が違ったり、リップルが多かったりすると I Cが壊れる事が有ります。

②構造上 物理的な衝撃には弱いので 取り扱いには注意してください。

内部のV F D管はガラス管ですので特に注意してください。

衝撃が加わりますと 壊れないまでも時計バックアップ用の電池が外れたりする事が有ります。

見た目は電池ボックスに入っているても 電氣的に接触していないことが有ります。

落したり、ぶつけた後 時計が狂っている時は電池を確認してください。

③低温、高温状態での使用はやめてください。

人間が通常の作業が出来る環境（目安として5℃～3 5℃）と考えてください。

直射日光などは当たらないようにしてください。

直射日光でなくても 日光が当たるとV F D管表示がよく見えないので室内の外からの光が当たらない所で使ってください。

暗い所の方が見易いです。

④水の中、結露、水の当たる環境では使用しないでください。

⑤使用中 おかしいと感じた場合は 何に限らず 直ぐ電源を切ってください。

その後、連絡を下さい。

（状況をなるべく詳しく教えてください）

参考 時計用バックアップ電池は この機器を使わずに放置した時で

計算上 数ヶ月持つ筈です。

交換する時は C R 2 0 3 2 を使ってください。